福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	中央公民館及び地域公民館事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会　中央公民館						所属長	浅田　久子				
会計情報	事業コード	630263	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
施策体系	施策コード	020101	施策名	生涯学習を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	社会教育法　福知山市立公民館条例　福知山市立公民館条例施行規則												
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　）												
R3現在の状況	☑ 継続中　☐ 廃止/休止　☐ 他事業へ統合　☐ 他事業を統合												
関連事業	各地域公民館一般管理事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という公民館の目的に添った生涯学習講座等を開催し、地域住民の主体的な学習活動を促進することにより、活動を通じた人と人、地域の絆を深め、地域社会への貢献やコミュニティづくりへの意識を高めていく。また、人づくり・地域づくりを担う人材の育成につなげていく。			
対象者	中央及び地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト　0.4
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）			
委託先・実施主体等	舞台照明CREW・SOLOOK			
事業概要（箇条書き）	子どもから高齢者までが学ぶ多様な生涯学習講座を実施する。 講師は地域の人材をできうるかぎり発掘し活用する。 地域の特性を活かした講座内容（地元の歴史を学ぶ、特産品を使った調理教室等）、地域のニーズに応じた講座内容（認知症予防、自己を見つめる講座、剪定等）を工夫する。 学校や関係機関と連携し世代間交流を目的とした講座を実施する。			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	報償費、旅費	1,611	講座講師謝礼、会議等旅費
	需用費	596	講座用消耗品
	役務費	36	通信運搬費（郵送料）
	委託料、使用料及び賃借料	23	音響業務委託、会場使用料
	備品購入費	80	オーブンレンジ（大江）、インクジェットプリンター（日新・北陵・夜久野）

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,763	2,764	2,740	5,646
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		2,763	2,764	2,740	5,646
予算財源内訳	① 一般財源	2,763	2,764	2,740	5,646
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 205	0	0	0
	② 配当予算	2,558	2,764	0	0
	③ 執行額	2,558	2,346	0	0
	④ 執行率	100.0%	84.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.13 / 11.95	0.13 / 11.10	0.13 / 11.10	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	30,915	28,790	28,790	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		33,473	31,136	28,790	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	一般講座参加延人数	人	5437 /5600	5320 / 5600	4083 / 5600	/ 5600	5600
	講座参加者満足度	点	/	4.65 / 0	4.49 / 5	/ 5	5

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	一般講座の回数	回	360/400	370 / 400	301 / 400	/ 400	400
	単位あたりコスト		7.2	6.9	7.8		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・多様な生涯学習機会を提供し、学習活動を通じて地域課題解決につなげていく力を培う意義の高いものである。社会教育法に基づき設置した施設であり、市の負担が妥当である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	講座や教室については、地域コミュニティづくりを推進していく観点から、材料費のみを参加者負担で実施しているが、今後、受益者負担についても検討する必要がある。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	参加枠を超える受講希望者がある等、市民の生涯学習意欲は高まっている。講師についても、学生から高齢者までの地域住民を活用することにより、地域の人材育成や相互に学びあう場となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止せざるを得なかった講座もあったが、コロナの状況だからこその講座（学校でのコロナ予防と人権擁護の講演会、料理講座レシピのホームページ掲載等）工夫して実施した。 多様な生涯学習講座を開催し、きっかけ作りをし、参加を促すことで自己実現、仲間づくり、世代間交流等が図られるとともに地域の絆が育まれている。住民の学習意欲も高まっており、小学校区で組織されている地区公民館と連携し、住民交流や人材育成のために欠かせない場所となっている。 昨年度より開始した各講座参加者に公民館共通した項目を設定したアンケートを継続し、利用者ニーズの把握に努めた。		
これまでの課題及び今後の方向性	社会情勢の変化に伴い、これまで以上に地域コミュニティづくりや地域課題解決に必要な学習を盛り込んだ生涯学習講座を実施していく必要がある。 また、新型コロナウイルス対策も含め、必ずしも集わなくても可能な学びの形態についても検討する。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 そのため講座内容についても充実を図る。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業（公民館）											
事業担当	所属	60040000 教育委員会　中央公民館					所属長	浅田　久子				
会計情報	事業コード	630185	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	242 頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名							
根拠法令等	新型インフルエンザ等対策特別措置法											
事業区分	☐ 法定受託事務　☑ 国府補助事業　☐ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　　）											
R3現在の状況	☐ 継続中　☐ 廃止/休止　☑ 他事業へ統合　☐ 他事業を統合											
関連事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	多くの市民が利用する市立公民館等で新型コロナウイルス感染拡大防止のため新しい生活様式を徹底するため、消毒液等の消耗品及び消毒液自動噴霧器、空気清浄機等の備品を各施設に配備する。			
対象者	中央及び地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト　0.1
実施方法	☑ 直接実施　☐ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　　）			
委託先・実施主体等				
事業概要（箇条書き）	・消毒液、同自動噴霧器を各施設に配置 ・市民交流プラザふくちやまに空気清浄機、サーマルカメラ配置 ・施設利用者への注意喚起、対策アプリ等の紹介 ・施設内消毒の徹底			

主な支出に係る業務内容と経費

支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
需用費	827	手指消毒用アルコール、空気清浄機用フィルター、感染防止用パーテーションなど
備品購入費	893	手指消毒液自動噴霧器、空気清浄機、サーマルカメラ、三連スクリーン

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0
	② 補正予算	0	1,740	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	0	1,740	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0
	② 国支出金	0	1,740	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0
	② 配当予算	0	1,740	0	0
	③ 執行額	0	1,720	0	0
	④ 執行率		98.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.00 / 0.00	0.12 / 1.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	3,460	0	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	5,180	0	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業（公民館）（地方創生臨時交付金）	種類	教育費国庫補助金	実績金額	1,720	決算付属資料	22 頁

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	クラスター感染者発生館数	館		/	0 / 0	/	0
				/	/	/	

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	安全対策を講じた施設数	館		/	11 / 11	/	11
	単位あたりコスト				156.4		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	社会全体で対応しなければならない課題として、安心安全な利用環境整備は最重要事項である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	必要物品が全国的に品薄になった時期もあり、コスト削減、比較が困難な部分はあったが、できうる限り複数見積を取得し、必要物品の調達を行った。 中央公民館・各地域公民館（9館）・大江町総合会館で必要な物品を一括購入し、効率的な調達を行った。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	休館や、事業の中止など余儀なくされたが、利用者にとって安心安全な利用環境と提供できた。 各館に手指消毒液自動噴霧器やオートソープディスペンサー等の感染予防対策物品を配備し、利用者が多い市民交流プラザふくちやま・中央公民館には大型空気清浄機やサーマルカメラを設置することにより、来館者と職員の双方にとって安心安全な環境整備を提供するとともに、感染予防に対する意識の向上を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	消毒液等配布のハード面、消毒の実施やアプリの紹介、利用者への注意喚起のソフト面両面から対応を行い、安心安全な環境整備により公民館利用者で感染者を出すことは無かった。		
これまでの課題及び今後の方向性	全館に配備した各種の感染予防対策物品により、来館者と職員の双方にとって安心安全な環境整備を提供するとともに、感染予防に対する意識の向上を図ることができた。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	・成果指標が定性的な表現となっているので、定量的に「安全対策を施した施設」と修正すべきと考える。 ・「有効性」の評価欄について、「利用者にとって安心安全な利用環境を提供でき」とあるが、安心安全な理由は、物品の配布なのか。それ以外にもあるのであれば記述すべき。 ・新型コロナ拡大防止事業（3事業）放課後児童クラブ、公民館、図書館の活動実績、成果実績の統一が必要。

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☐ 事業の見直し ☑ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	成果指標、有効性の評価欄、3事業の活動実績、成果実績について修正しました。 本事業は、個々の施設の一般管理事業に組換しました。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☑ 廃止/休止　☐ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	北陵地域公民館整備事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会　中央公民館						所属長	浅田　久子				
会計情報	事業コード	630171	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	辺地総合整備計画							
根拠法令等	社会教育法　福知山市立公民館条例　福知山市立公民館条例施行規則												
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　）												
R3現在の状況	☑ 継続中　☐ 廃止/休止　☐ 他事業へ統合　☐ 他事業を統合												
関連事業													

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	平成30年7月豪雨により被災し、解体することとなった北陵地域公民館を、新たな地域の拠点施設として公民館活動や住民活動、さらに広域避難所に活用し、安心と安全性を確保した施設として新築・整備する。 新たな北陵地域公民館は、地域住民の生涯学習や地域コミュニティの拠点として、バリアフリーかつ現代的な社会環境を備えた各種活動が可能な施設に整備します。また太陽光発電システム、蓄電池等を備え、災害時に信頼性の高い避難所とするとともに、再生エネルギーを活用したSDGsに貢献できる高機能な地域公民館とする。			
対象者	北陵地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト　0.2
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）			
委託先・実施主体等	株式会社日匠設計、株式会社キミコン京都営業所、株式会社テレコムビジネス			
事業概要（箇条書き）	北陵地域公民館新設工事 北陵地域公民館新設に伴う電気設備工事 北陵地域公民館新設に伴う外構整備工事 北陵地域公民館新設に伴う備品購入 北陵地域公民館竣工式			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	役務費	42	北陵地域公民館金山会館へ一時移転に伴う光回線通信料
	委託料	9,832	北陵地域公民館新築工事に伴う設計業務 、北陵地域公民館新築工事に伴う地質調査業務

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	0	207,000	0
	② 補正予算	16,600	46,000	0	0
	③ 繰越予算	△ 16,600	△ 29,400	46,000	0
	前年度繰越	0	16,600	46,000	0
	次年度繰越	△ 16,600	△ 46,000	0	0
小計（①～③）		0	16,600	253,000	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	95	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	16,600	244,900	0
	⑤ その他特財	0	0	8,005	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0
	② 配当予算	0	16,600	0	0
	③ 執行額	0	9,874	0	0
	④ 執行率		59.5%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.30 ／ 0.35	0.25 ／ 0.35	0.25 ／ 0.35	0.00 ／ 0.00
	② 概算人件費	3,275	2,875	2,875	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		3,275	12,749	2,875	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	北陵地域公民館整備事業（辺地対策事業）	種類	教育債	実績金額	9,800	決算付属資料	54	頁

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
				/	/	/	
				/	/	/	

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	北陵地域公民館新設	棟		0 / 0	0 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト						
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域公民館は、生涯学習の拠点のみならず、広域避難所や地域の核として他に公的施設を有さない北陵地域に必要不可欠な施設である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	太陽光パネルや蓄電池を備え、エネルギーの全てを自給自足する施設とするためイニシャルコストはかかるが、ランニングコストや将来の避難所としての利便性、環境にかける負荷を考慮すると効率的であると言える。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	エネルギーの自給自足を行う公共施設は近隣には実績が無く、市のSDGsへの取組みを発信する施設として果たす役割は大きい。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域住民の生涯学習や地域コミュニティの拠点として、バリアフリーかつ現代的な社会環境を備えた各種活動が可能な施設、また太陽光発電システム、蓄電池等を備え、災害時に信頼性の高い避難所とするとともに、再生エネルギーを活用したSDGsに貢献できる高機能な地域公民館を新築する。 定性的評価：令和2年度末に契約を完了し、令和3年度4月に工事に着工した。その後、令和3年度内の完成・竣工を目指し順調に進んでいる。		
これまでの課題及び今後の方向性	従来にない設計であるため、発注に時間を有したが、工事事業者も決定し、令和3年度内竣工に向け現場の進捗を管理する。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☑ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	事業完了

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☑ 廃止/休止　☐ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	市民交流プラザふくちやま管理運営事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館						所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630167	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）												
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	中央公民館管理運営事業 中央公民館及び地域公民館事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	市民交流プラザふくちやまの施設利用者の安全と利便性を確保し、適正で効率的な維持管理運営を行う。				
対象者	市民及び在住・在勤者を中心とした市内外住民不特定多数	対象者数	76,584	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	オリックス・ファシリティーズ株式会社				
事業概要（箇条書き）	市民交流プラザふくちやまの施設にかかる各設備保守点検業務、清掃業務、警備業務、その他の施設維持管理業務				

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	需用費	15,405	光熱水費、消耗品、施設修繕費（空調設備修繕、屋上散水栓漏水修繕他）など
	役務費	526	共済保険、通信運搬費（郵送料、電話代） 手数料（ピアノ調律手数料）など
	委託料	35,992	市民交流プラザふくちやま施設管理業務
	使用料及び賃借料	28	冷房機器借上げ料
	備品購入費	88	レーザープリンター

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	49,704	55,667	53,778	53,412
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		49,704	55,667	53,778	53,412
予算財源内訳	① 一般財源	33,447	37,825	35,176	34,810
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	16,257	17,842	18,602	18,602
決算情報	① 流充用額	3,068	△ 2248	0	0
	② 配当予算	52,772	53,419	0	0
	③ 執行額	52,772	52,039	0	0
	④ 執行率	100.0%	97.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.25 / 0.25	0.21 / 0.25	0.21 / 0.25	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,625	2,305	2,305	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		55,397	54,344	2,305	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	市民交流プラザふくちやま使用料（会場・駐車場）	種類	教育使用料	実績金額	8,354	決算付属資料	10	頁
		雑入（広告料・コピー代・共益費）		雑入		7,314		44・50	

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	市民交流プラザふくちやま利用者数	人	421,500/420,000	402412 / 423000	222786 / 423000	/ 423000	423000
	市民交流プラザふくちやま利用件数	件	4,142/6,600	4101 / 6900	3375 / 6400	/ 6400	6400

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	359/359	343 / 360	325 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		141.0	153.9	160.1		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	駅前のランドマークとして市外、府外の利用者も多く、コミュニティづくり、憩いの場として目的に応じた機能を果たし、安全安心で快適な公共施設として提供できている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設管理業務の更新年であったが、人件費の上昇等により委託料は増加したものの、登録事業者全社を指名しての競争入札を行い効率的な運営に努めている。 また、府施設予約システムも導入し、次年度から本格始動予定である。 社会教育団体、公民館登録団体等には、社会教育施設という関点から使用料の減免をおこなっている。市の利用についての利用料全額免除については見直しを行う方向であるが、今年度はコロナ対策等により庁内協議ができなかったため次年度以降検討する。 また、省エネ、環境面への配慮から照明のLED化等も図書館中央館とも連携して検討を開始した。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	開館以来利用者数は順調に推移してきたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、休館や施設利用の制限等もあり実績値は減少した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市民交流プラザふくちやまは、コミュニティづくりの場であり、様々な交流の場として目標を超える多くの利用があった。引き続き利便性を確保し、安全安心かつ快適な公共施設として提供できるように維持管理及び運営していく。災害時には避難所としても機能している。 新型コロナウイルス感染予防のため施設休止及び利用制限を余儀なくされた期間があり、利用者数は減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も「まちと人・人と人をつなぐ交流空間の創造」をコンセプトに、市民交流プラザふくちやまの円滑な維持管理及び運営を継続することにより、生涯学習機能の充実とそこに集う人々の交流とにぎわいづくりを促進していく。 利用者の利便性と事務効率化のため、今年度より京都府の施設予約システムを導入し、次年度より本格始動する。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☑ 事業の見直しなし	継続して施設の安心安全、健全な維持管理に努める。施設の照明についてLED化を進める。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☑ 現状維持　☐ 廃止/休止　☐ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	大江地域公民館一般管理事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館						所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630162	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）												
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	大江地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供する。地域住民の交流を促進し、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用される。			
対象者	大江地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス株式会社 ほか			
事業概要（箇条書き）	・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用。			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	報酬、職員手当等	1,034	臨時職員報酬、期末手当
	需用費	959	光熱水費、消耗品、施設修繕費（調理実習室屋根瓦修繕、消防用設備修繕）など
	役務費	171	共済保険、通信運搬費（電話代）
	委託料	183	機械警備、定期清掃、消防設備等点検委託
	使用料及び賃借料	209	印刷賃貸借料、テレビ受信料など

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,755	3,101	2,922	5,014
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	2,755	3,101	2,922	5,014
予算財源内訳	① 一般財源	2,707	3,039	2,858	4,950
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	48	62	64	64
決算情報	① 流充用額	90	30	0	0
	② 配当予算	2,845	3,131	0	0
	③ 執行額	2,845	2,556	0	0
	④ 執行率	100.0%	81.6%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.06 / 0.75	0.05 / 0.75	0.05 / 0.75	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,355	2,275	2,275	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,200	4,831	2,275	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	大江地域公民館使用料	教育使用料	54	12	
	雑入（自動販売機電気代等）	雑入	35	46・50	

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公民館利用人数	人	7,881/5,000	5568 / 5000	2867 / 6000	/ 6000	6000
	公民館利用件数	件	/	426 / 0	315 / 500	/ 500	500

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	288/298	271 / 287	287 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		10.6	10.5	8.9		
	地域住民利用人数	人	/	5559 / 6000	2542 / 6000	/ 6000	6000
	単位あたりコスト			0.5	1.0		

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域住民の生涯学習の拠点として公民館組織は必要不可欠である。 市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。老朽化による施設修繕費も年々増加している中、受益者負担として、施設使用料（減免）の見直しについて検討していく必要もあるが、地域住民の学び・集い・結ぶという地域公民館の設置目的から、充分な議論が必要である。 効率性を検討して、地域プールについては、防災時のろ過装置棟も有するため安全に関する維持管理のみ継続し、プールとしての使用は地域住民の理解を得て休止することとした。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全な利便性の高い公共施設を提供してきた。 令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため施設休止及び利用制限を余儀なくされたこともあり、利用者数は減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域プールについては地域住民と協議の結果、プールとしての利用は廃止することとした。 河東地区では、地域グラウンドも有し、災害時にはろ過装置で飲料水確保可能とされる広域避難所であるが、少子高齢化が進み公民館事業に参加する地域住民は減少している。 公民館活動を通して人と人との絆を深め、地域づくりや地域課題の解決等の地域の活動拠点として、大江地域全体で施設をどのように機能の強化するべきか協議・調整する必要がある。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 講座内容についても充実を図る。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	公共施設民間譲渡事業（その他施設）（中央公民館）											
事業担当	所属	60040000 教育委員会　中央公民館					所属長	浅田　久子				
会計情報	事業コード	630145	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240 頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　　）											
R3現在の状況	☐ 継続中　☑ 廃止/休止　☐ 他事業へ統合　☐ 他事業を統合											
関連事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	建設後40年を経過し、その役割も終了した西中筋プール用地を有効活用するために分筆登記して民間企業等に売却するための準備を行う。			
対象者	日新地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.0
実施方法	☐ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　　）			
委託先・実施主体等	京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会			
事業概要（箇条書き）	・西中筋プール売却に向けた公共嘱託登記			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	委託料	1,248	西中筋プールの土地整理に向けた筆界確認及び分筆書類の作成業務

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	1,248	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		0	1,248	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	1,248	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0
	② 配当予算	0	1,248	0	0
	③ 執行額	0	1,248	0	0
	④ 執行率	0.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.00 / 0.00	0.13 / 0.05	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	1,165	0	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	2,413	0	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	公共施設民間譲渡事業基金（その他施設）（中央公民館）	種類	基金繰入金	実績金額	1,248	決算付属資料	42 頁

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	西中筋プール用地売却	式	0	0 / 0	1 / 1	/ 0	1
				/	/	/	

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	西中筋プール用地分筆登記	式	0	0 / 0	1 / 1	/ 0	1
	単位あたりコスト		0.0	0.0	1248.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	活用可能な資産の売却は必要不可欠である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	公共嘱託登記のできる事業者は1者に限定されている。 また、従来プールを撤去してから売却する計画であったが、現況で売却することにより、費用の削減と早期の有効活用に寄与する。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	プールを現況で売却する手法がとれるか資産活用課とも調整して事業実施し、有効性が高いと判断して実施した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	現況で売却する形式は、資産の有効活用するうえで効果が高いと考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	登記を確認すると把握している資産管理台帳と不整合な点が見受けられ、確認に時間と費用を要した。 今回分筆登記した活用していない土地について資産活用課により売却を実施する予定である。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☑ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☑ 廃止/休止　☐ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	地域公民館等施設改修事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館						所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630127	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	昭和51年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	社会教育法　福知山市立公民館条例　福知山市立公民館条例施行規則												
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　）												
R3現在の状況	☐ 継続中　☐ 廃止/休止　☑ 他事業へ統合　☐ 他事業を統合												
関連事業	地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	経年劣化が進み、不具合が生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を改修、更新することで、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心、かつ快適な公共施設を提供していく。			
対象者	地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.2
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）			
委託先・実施主体等	OGD			
事業概要（箇条書き）	・老朽化する地域公民館等の施設修繕等 今年度は ・六人部地域公民館エアコン取替 ・日新地域公民館駐車場バリアフリーアスファルト化改修 ・日新地域公民館樹木伐採 ・各地域公民館消火器・AED更新			

主な支出に係る業務内容と経費

支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
需用費	212	日新地域公民館側溝グレーチング、公民館等AEDパッド
委託料	1,045	日新地域公民館樹木伐採業務
工事請負費	13,414	日新地域公民館バリアフリーアスファルト化改修、六人部地域公民館本館エアコン取替
備品購入費	752	地域公民館AED、消火器及び消火器ボックス、成和地域公民館可動式スロープ

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,425	13,600	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,425	13,600	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	65	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	12,200	0	0
	⑤ その他特財	1,360	1,400	0	0
決算情報	① 流充用額	691	1856	0	0
	② 配当予算	2,116	15,456	0	0
	③ 執行額	2,116	15,423	0	0
	④ 執行率	100.0%	99.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.20 / 0.60	0.11 / 0.45	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	3,100	2,005	0	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,216	17,428	0	0

主な利用特財（N－1年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
地域公民館等施設改修事業繰入	基金繰入金	1,400	42	
地域公民館等施設改修事業（地域活性化）	教育債	12,000	54	

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標

指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
地域公民館等施設利用者数	人	112,855 /127,000	120317 / 126100	96408 / 127000	/	127000
		/	/	/	/	

活動実績（アウトプット）実績／計画

指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
修繕・改修等の箇所数	箇所	3/ 6	3 / 3	4 / 4	/	0
単位あたりコスト		458.7	705.2	3855.8		
		/	/	/	/	
単位あたりコスト						

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	老朽化し危険な箇所から順次改修を行っている。 広域避難所としても機能する地域公民館としては地域住民の安心安全を守るため必要不可欠な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	老朽化により不具合の生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を原状復旧、改修、更新することで、全体的な観点からコスト削減に寄与すると同時に、公共施設マネジメントを推進することになる。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	地域公民館や体育館等施設については、広域避難所にも位置づけられているため、有事の際に、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心かつ快適に利用していただく公共施設として修繕は有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	老朽化により、不具合が生じている各地域公民館等施設に修繕又は改修等を施し、安全に安心して利用でき、施設の長寿命化とコスト削減につながった。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域公民館にあっては、築30年、40年と経過していることから老朽化も著しい。今後も広域避難所でもある公民館を安心安全に利用いただくために、必要性、優先度に応じて予算措置を講じ、計画的に実施していく必要がある。 地域公民館は市全体の施設長寿命化計画に位置付け、令和2年度も2公民館の調査を資産活用課により行った。 老朽化が進む地域公民館等の施設改修に向けた経費であるが、長寿命化計画に基づく大規模改修事業に統合した。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☐ 事業の見直し ☑ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	令和3年度は新規事業である地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業に組換しました。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☑ 廃止/休止　☐ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	大江町総合会館運営事業											
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館					所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630116	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240 頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	福知山市大江町過疎地域総合センター条例											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）											
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合											
関連事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	大江町総合会館を適正に管理することにより、快適・安全な施設利用を進め、イベントホールもあることから、地域内外からの住民交流や生涯学習活動の場として利用される。			
対象者	大江地域住民を中心とする大江町総合会館利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	コトブキシーティング株式会社 ほか			
事業概要（箇条書き）	・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	報酬、職員手当等	1,820	臨時職員報酬、期末手当
	需用費	4,231	光熱水費、消耗品、施設修繕費（埋設給水管漏水修繕、消防用設備修繕）など
	役務費	85	共済保険、手数料（ピアノ調律手数料）など
	委託料	1,271	電気工作物、建築物環境衛生管理、エレベーター、電動式移動観覧席、舞台機構、自動扉点検委託など

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	7,633	7,338	8,163	8,244
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		7,633	7,338	8,163	8,244
予算財源内訳	① 一般財源	6,721	6,468	7,693	7,774
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	912	870	470	470
決算情報	① 流充用額	41	73	0	0
	② 配当予算	7,674	7,411	0	0
	③ 執行額	7,674	7,407	0	0
	④ 執行率	100.0%	99.9%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.08 / 0.05	0.05 / 0.05	0.05 / 0.05	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	765	525	525	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		8,439	7,932	525	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	
	大江町総合会館使用料	教育使用料	351	12	
	雑入（自動販売機電気代等）	雑入	18	46	頁

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	総合会館利用人数	人	6,485/20,000	24292 / 20000	23170 / 25000	/ 25000	25000
	総合会館利用件数	件	/	700 / 700	681 / 700	/ 700	700

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	98/359	343 / 360	322 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		85.6	22.4	23.0		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	支所と連動した大江駅前の中心施設であり、必要性は大きい
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	従来、地域公民館が位置し、管理運営を行っていたが、度重なる浸水被害に遭ったことから、現在地域公民館機能は元河東地域公民館に移動している。 現在、大江町総合会館は、電話を受ける職員も不在で調定事務についても支所職員で行っている。光熱水費他も支所と折半しているように、建物は支所と一体化しており、大江町総合会館の管理運営面では、使用者の利便性上も事務効率化の観点からも効率性が低いといえる。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	多目的ホールや和室、会議室等、多様な部屋があることから、生涯学習実践の場として機能しているとともに、様々なコミュニティづくりにも寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校を余儀なくされた小学校の授業数を守るため実施された夏季特別開校の代替施設となったこともあり利用者数は増加した。		
これまでの課題及び今後の方向性	ホールや図書館も有する大江地域のシンボルともいえる施設であり、必要性は高いが、被災しやすい立地でもある。。 従来、地域公民館が位置し、管理運営を行っていたが、現在地域公民館は元河東地域公民館に移動し、大江町総合会館としては電話を受ける職員も不在で調定事務についても支所職員で行っている。 建物は支所と一体化しており光熱水費他も折半する等、使用者の利便性上も事務効率化の観点からも効率性が低い。 条例名による設置目的からも地域公民館もない中では教育委員会が所管する合理的理由がない。 今後、大江町全体の施設のあり方についても協議検討する必要がある。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☑ 事業の見直しなし	施設のあり方については、大江町全体の施設について協議検討する必要があり、現時点では事業を継続する。 大江町総合会館を適正に管理することにより、快適・安全な施設利用を進め、イベントホールもあることから、地域内外からの住民交流や生涯学習活動の場として活用を図る。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☑ 現状維持　☐ 廃止/休止　☐ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	夜久野地域公民館一般管理事業											
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館					所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630112	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	238 頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）											
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	夜久野地域の旧小学校体育施設を適正に管理することにより、市民の交流の場として、体力増進、健康づくりの活動が快適、安全に行なえるようになる。			
対象者	夜久野地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等				
事業概要（箇条書き）	・旧小学校体育施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕。			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	報酬、職員手当等	1,402	臨時職員報酬、期末手当
	需用費	150	光熱水費、消耗品、施設修繕費（旧精華小学校体育館 窓ガラス、照明器具修繕）など
	役務費	177	通信運搬費（電話代）
	使用料及び賃借料	14	テレビ受信料

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,675	1,647	1,626	1,307
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,675	1,647	1,626	1,307
予算財源内訳	① 一般財源	1,675	1,647	1,616	1,297
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	10	10
決算情報	① 流充用額	△ 64	101	0	0
	② 配当予算	1,611	1,748	0	0
	③ 執行額	1,611	1,743	0	0
	④ 執行率	100.0%	99.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.06 / 0.75	0.03 / 0.75	0.03 / 0.75	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,355	2,115	2,115	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		3,966	3,858	2,115	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	旧学校体育施設使用料	種類	教育使用料	実績金額	45	決算付属資料	12	頁

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	夜久野町旧小学校体育施設利用者	人	1400/1500	3928 / 1500	2480 / 1500	/ 1500	1500
	夜久野町旧小学校体育施設利用件数	件	/	149 / 0	201 / 200	/ 200	200

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	359/359	342 / 359	201 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		4.2	4.7	8.7		
	夜久野町旧小学校体育施設地域住民利用者数	人	/	/	1900 / 1500	/ 1500	1500
	単位あたりコスト				0.9		

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域住民や市民が利用できる体育施設として必要な施設である。 旧3小学校体育施設については公共施設マネジメントの観点からも有効活用可能な事業者募集を実施するとともに、地域での施設管理委託も検討する必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	地域住民や市民が利用できる体育施設としての情報発信が不十分な面もあり、利用者数の低下が課題である。また老朽化による不具合が発生している。 今後は施設維持管理の効率性のためにも、有効活用可能な事業者募集を実施するとともに、地域での施設管理委託も検討する必要がある。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	旧3小学校体育施設については公共施設マネジメントの観点からも有効活用可能な事業者募集を実施するとともに、地域での施設管理委託も検討する必要がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実整備は、より一層求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。		
これまでの課題及び今後の方向性	旧小学校跡地の体育館、グランドについては老朽化に伴う不具合や雑草等、日常管理の整備が充分できていない。今後は地元各種団体等と協議しながら効率的な利用について協議・検討したい。 生涯学習課が所管する夜久野町生涯学習センターや夜久野地域協議会との関係も強化し、より有効な管理運営ができるよう検討する。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	公民館の運営体制について、他の地域公民館と同様に、臨時職員の勤務時間を調整する。 市の文化財等の適正な管理を進めるため、旧育英小学校の有効活用を進める。 施設の所管を文化・スポーツ振興課に所管替えする。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☐ 予算拡充　☑ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　－　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　－　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	三和地域公民館一般管理事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館						所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630108	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	238	頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）												
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	三和地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供する。地域住民の交流を促進し、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用される。			
対象者	三和地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス株式会社 ほか			
事業概要（箇条書き）	・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用。			

主な支出に係る業務内容と経費

支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
報酬、職員手当等	897	臨時職員報酬、期末手当
需用費	1,374	光熱水費、消耗品、施設修繕費（消防用設備修繕）など
役務費	210	共済保険、通信運搬費（電話代） 手数料（ピアノ調律手数料）など
委託料	1,004	機械警備、定期清掃、電気工作物、エレベーター、自動扉保守点検委託など
使用料及び賃借料	34	テレビ受信料

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,280	3,824	3,942	5,546
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,280	3,824	3,942	5,546
予算財源内訳	① 一般財源	4,161	3,709	3,827	5,431
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	119	115	115	115
決算情報	① 流充用額	279	104	0	0
	② 配当予算	4,559	3,928	0	0
	③ 執行額	4,559	3,519	0	0
	④ 執行率	100.0%	89.6%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.06 / 0.75	0.03 / 0.75	0.03 / 0.75	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,355	2,115	2,115	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		6,914	5,634	2,115	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	三和地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	87	決算付属資料	12	頁
								46	

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公民館利用人数	人	8198/8100	6909 / 8200	3831 / 8200	/ 8200	8200
	公民館利用件数	件	/	632 / 0	433 / 700	/ 700	700

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	359/359	342 / 359	327 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		11.8	13.3	10.8		
	地域住民利用人数	人	/	6753 / 7000	3796 / 7000	/ 7000	7000
	単位あたりコスト			0.7	0.9		

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域住民の生涯学習の拠点として公民館組織は必要不可欠である。 市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。老朽化による施設修繕費も年々増加している中、受益者負担として、施設使用料（減免）の見直しについて検討していく必要もあるが、地域住民の学び・集い・結ぶという地域公民館の設置目的から、充分な議論が必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実整備は、より一層求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 新型コロナウイルス感染予防のため施設休止及び利用制限を余儀なくされた期間もあり、利用人数は減少した。 三和荘はじめ、三和地域内の施設総体として有効活用していくための協議が開始し、公民館も参画している。		
これまでの課題及び今後の方向性	老朽化に伴う不具合も多発しており、山里の自然を活かした三和の地域づくりや地域課題の解決等の地域の活動拠点として、三和地域として施設統合も考えながら機能の強化を図る必要がある。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	三和地域公民館の機能について三和荘への移転を進める。 他部局と連携して三和荘への機能統合を円滑に進め、住民のコミュニティ向上、生涯学習環境の充実を図る。 生涯学習講座についても内容を充実する。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	桃映地域公民館一般管理事業											
事業担当	所属	60040000 教育委員会　中央公民館					所属長	浅田　久子				
会計情報	事業コード	630107	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	238 頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	社会教育法　福知山市立公民館条例　福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　）											
R3現在の状況	☑ 継続中　☐ 廃止/休止　☐ 他事業へ統合　☐ 他事業を統合											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	桃映地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供する。地域住民の交流を促進し、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用される。			
対象者	桃映地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）			
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス株式会社　ほか			
事業概要（箇条書き）	・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕			

主な支出に係る業務内容と経費

支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
報酬、職員手当等	761	臨時職員報酬、期末手当
需用費	871	光熱水費、消耗品など
役務費	143	共済保険、通信運搬費（電話代）など
委託料	64	機械警備、消防設備等点検委託
使用料及び賃借料	145	印刷賃貸借料、テレビ受信料など

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,891	2,085	2,131	4,613
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	1,891	2,085	2,131	4,613
予算財源内訳	① 一般財源	1,585	1,800	1,806	4,288
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	306	285	325	325
決算情報	① 流充用額	85	0	0	0
	② 配当予算	1,976	2,085	0	0
	③ 執行額	1,976	1,984	0	0
	④ 執行率	100.0%	95.2%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.06 / 0.75	0.03 / 0.75	0.03 / 0.75	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,355	2,115	2,115	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,331	4,099	2,115	0

主な利用特財（N－1年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	
桃映地域公民館使用料	教育使用料	280	12	頁
雑入（自動販売機電気代）	雑入	29	46	

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公民館利用人数	人	8594/8500	8497 / 8500	11987 / 9000	/ 9000	9000
	公民館利用件数	件	/	1053 / 0	961 / 1200	/ 1200	1200

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	288/293	271 / 288	288 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		6.0	7.3	6.9		
	地域住民利用人数	人	/	8446 / 8500	4074 / 8500	/ 8500	8500
	単位あたりコスト			0.2	0.5		

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域住民の生涯学習の拠点として公民館組織は必要不可欠である。 市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。体育館（桃映地域公民館）については、老朽化による施設修繕費も年々増加している中、受益者負担として、施設使用料（減免）の見直しについて検討していく必要もあるが、地域住民の学び・集い・結ぶという地域公民館の設置目的から、充分な議論が必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	生涯学習市民講座については、隣接の大正文化センターや同学区内の堀会館を活用して円滑に実施している。 自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	現在、生涯学習市民講座については、隣接の大正文化センターや同学区内の堀会館を活用して円滑に実施し、多くの市民に学びや集いの場を提供している。 また、体育館については地域住民のみでなく地域外からの利用も多く、有効活用を図っている。少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の整備等を計画的に進め、今後も地域住民に快適安全な利便性の高い公共施設を提供していく必要がある。 新型コロナウイルス感染予防のため一部施設休止及び利用制限を余儀なくされ利用者数は減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	公民館組織はあるが、建物としては体育館のみであり、桃映地域の生涯学習の拠点、地域福祉、住民自治活動など多目的な施設とすべく、庁内関係課及び地域住民との協議に着手した。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 講座内容についても充実を図る。 桃映地域公民館の建設に向けて事業を円滑に進める。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	成和地域公民館一般管理事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館						所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630106	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	238	頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）												
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	成和地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供する。地域住民の交流を促進し、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用される。			
対象者	成和地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス株式会社 ほか			
事業概要（箇条書き）	・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用。			

主な支出に係る業務内容と経費

支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
報酬、職員手当等	935	臨時職員報酬、期末手当
需用費	3,543	光熱水費、消耗品、施設修繕費（汚水桝及び下水管緊急改修、体育館センターネット修繕他）など
役務費	170	共済保険、通信運搬費（電話代） 手数料（ピアノ調律手数料）など
委託料	757	機械警備、定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など
使用料及び賃借料	152	印刷賃貸借料、テレビ受信料など

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	5,679	5,711	7,043	9,900
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		5,679	5,711	7,043	9,900
予算財源内訳	① 一般財源	5,248	5,276	6,613	9,470
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	431	435	430	430
決算情報	① 流充用額	△ 190	△ 70	0	0
	② 配当予算	5,489	5,641	0	0
	③ 執行額	5,489	5,557	0	0
	④ 執行率	100.0%	98.5%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.06 / 0.75	0.03 / 0.75	0.03 / 0.75	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,355	2,115	2,115	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		7,844	7,672	2,115	0

主な利用特財（N－1年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
成和地域公民館使用料	教育使用料	425	12	
雑入（自動販売機電気代等）	雑入	45	46	

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標

指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
公民館利用人数	人	29,832 /25,000	25526 / 27000	21124 / 28000	/ 28000	28000
公民館利用件数	件	/	1398 / 0	1314 / 1500	/ 1500	1500

活動実績（アウトプット）実績／計画

指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
開館日数	日	293/298	272 / 289	274 / 289	/ 289	289
単位あたりコスト		17.1	20.2	20.3		
地域住民利用人数	人	/	24277 / 26000	16147 / 26000	/ 26000	26000
単位あたりコスト			0.2	0.3		

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域住民の生涯学習の拠点として公民館組織は必要不可欠である。 市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。老朽化による施設修繕費も年々増加している中、受益者負担として、施設使用料（減免）の見直しについて検討していく必要もあるが、地域住民の学び・集い・結ぶという地域公民館の設置目的から、充分な議論が必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 令和元年度より地域包括支援センターに実習室を提供したこと、また新型コロナウイルス感染予防のため施設休止及び利用制限したことにより館の利用は減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	現在も地域包括支援センターが館内に設置され、連携した講座等も行っているが、生涯学習の拠点として公民館組織は維持しつつ、地域福祉、住民自治、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「コミュニティセンター」とすべく、施設の長寿命化改修と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行い改編する計画である。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 講座内容についても充実を図る。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	六人部地域公民館一般管理事業											
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館					所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630105	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	238 頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	昭和59年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）											
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	六人部地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供する。地域住民の交流を促進し、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用される。			
対象者	六人部地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス株式会社 ほか			
事業概要（箇条書き）	・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用。			

主な支出に係る業務内容と経費

支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
報酬、職員手当等	972	臨時職員報酬、期末手当
需用費	1,269	光熱水費、消耗品、施設修繕費（体育館水銀灯修繕、消防用設備修繕）など
役務費	266	共済保険、通信運搬費（電話代） 手数料（スズメバチ駆除他）など
委託料	573	機械警備、定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など
使用料及び賃借料	145	印刷賃貸借料、テレビ受信料など

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,179	3,412	3,659	5,987
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		3,179	3,412	3,659	5,987
予算財源内訳	① 一般財源	2,822	3,077	3,324	5,652
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	357	335	335	335
決算情報	① 流充用額	27	43	0	0
	② 配当予算	3,206	3,455	0	0
	③ 執行額	3,206	3,225	0	0
	④ 執行率	100.0%	93.3%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.06 / 0.75	0.03 / 0.75	0.03 / 0.75	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,355	2,115	2,115	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,561	5,340	2,115	0

主な利用特財（N－1年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	
六人部地域公民館使用料	教育使用料	327	12	頁
雑入（自動販売機電気代等）	雑入	58	46	

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公民館利用人数	人	22,399 /22,000	20190 / 22500	15836 / 22500	/ 22500	22500
	公民館利用件数	件	/	3173 / 0	1484 / 3200	/ 3200	3200

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	288/298	269 / 286	271 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		13.7	11.9	11.9		
	地域住民利用人数	人	/	19590 / 20000	15247 / 20000	/ 20000	20000
	単位あたりコスト			0.2	0.2		

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域住民の生涯学習の拠点として公民館組織は必要不可欠である。 市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。老朽化による施設修繕費も年々増加している中、受益者負担として、施設使用料（減免）の見直しについて検討していく必要もあるが、地域住民の学び・集い・結ぶという地域公民館の設置目的から、充分な議論が必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 令和元年度より地域包括支援センターに実習室を提供したこと、また新型コロナウイルス感染予防のため施設休止及び利用制限したことにより館の利用は減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	現在も地域包括支援センターが館内に設置され、連携した講座等も行っているが、生涯学習の拠点として公民館組織は維持しつつ、地域福祉、住民自治、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「コミュニティセンター」とすべく、施設の長寿命化改修と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行い改編する計画である。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 講座内容についても充実を図る。 令和5年度の長寿命化改修、その後の機能統合に向けて、設計内容等を関係課と円滑に進めていく。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　－　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　－　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	北陵地域公民館一般管理事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館						所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630104	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	236	頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	昭和54年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）												
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	北陵地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供する。地域住民の交流を促進し、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用される。			
対象者	北陵地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.0
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス株式会社 ほか			
事業概要（箇条書き）	・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕（現在金山会館にて仮運営中） ・災害時においては体育館を広域避難所として使用。			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	報酬、職員手当等	1,012	臨時職員報酬、期末手当
	需用費	547	光熱水費、消耗品、施設修繕費（体育館洗い場給水露出配管修繕）など
	役務費	111	共済保険、通信運搬費（電話代）など
	委託料	254	機械警備、消防設備等点検、体育館浄化槽維持管理委託
	使用料及び賃借料	175	印刷賃貸借料、テレビ受信料など

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,787	2,158	2,361	2,537
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	1,787	2,158	2,361	2,537
予算財源内訳	① 一般財源	1,787	2,143	2,346	2,522
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	15	15	15
決算情報	① 流充用額	△ 132	46	0	0
	② 配当予算	1,655	2,204	0	0
	③ 執行額	1,655	2,099	0	0
	④ 執行率	100.0%	95.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.06 / 0.45	0.03 / 0.45	0.03 / 0.45	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,605	1,365	1,365	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		3,260	3,464	1,365	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	北陵地域公民館使用料	教育使用料	13	12	
	雑入（施設等光熱水費）	雑入	47	46	

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公民館利用人数	人	1959 /6000	812 / 1000	861 / 1000	/ 1000	1000
	公民館利用件数	件	/	32 / 0	37 / 35	/ 35	35

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	289/298	271 / 288	272 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		3.1	6.1	7.7		
	地域住民利用人数	人	/	812 / 800	645 / 800	/ 800	800
	単位あたりコスト			2.0	3.3		

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域住民の生涯学習の拠点として公民館組織は必要不可欠である。 被災により現在金山会館に移設しているが、市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。老朽化による施設修繕費も年々増加している中、受益者負担として、施設使用料（減免）の見直しについて検討していく必要もあるが、地域住民の学び・集い・結ぶという地域公民館の設置目的から、充分な議論が必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、現在は十分な施設ではないが、学びの火を消さぬよう絆を育んでいる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層求められており、施設の修繕や備品の整備等の各種修繕にも計画的に取り組んだが、昨年7月豪雨災害により、被災し、公民館利用人数は激減した。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成30年豪雨で被災し、利用不能となっている施設を解体し、新地域公民館を跡地の安全な区画に設立すべく令和2年度9月より公民館機能は金山会館に移設して事業を行っている。 公民館組織と施設との関係については関係課と協議を継続する。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	リニューアルした地域公民館について、地域住民のコミュニティ拠点として有効活用を図る。また、地域住民自らが地域課題解決や地域の発展に取り組む地域協議会との連携を図る。 また、R4.4.1から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 講座内容についても充実を図る。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	日新地域公民館一般管理事業											
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館					所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630103	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	236 頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）											
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合											
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業											

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	日新地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供する。地域住民の交流を促進し、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用される。			
対象者	日新地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス株式会社 ほか			
事業概要（箇条書き）	・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用。			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	報酬、職員手当等	950	臨時職員報酬、期末手当
	需用費	2,122	光熱水費、消耗品、施設修繕費（消防用設備修繕）など
	役務費	208	共済保険、通信運搬費（電話代）など
	委託料	590	機械警備、定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など
	使用料及び賃借料	145	印刷賃貸借料、テレビ受信料など

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,535	4,324	4,889	3,452
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,535	4,324	4,889	3,452
予算財源内訳	① 一般財源	4,229	4,024	4,574	3,137
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	306	300	315	315
決算情報	① 流充用額	△ 222	△ 83	0	0
	② 配当予算	4,313	4,241	0	0
	③ 執行額	4,313	4,015	0	0
	④ 執行率	100.0%	94.7%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.06 / 0.75	0.03 / 0.75	0.03 / 0.75	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,355	2,115	2,115	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		6,668	6,130	2,115	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	日新地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	250	決算付属資料	12 頁
		雑入（自動販売機等電気料）		雑入		46		46

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公民館利用人数	人	20113/20,000	19649 / 21000	10980 / 21000	/ 21000	21000
	公民館利用件数	件	/	1394 / 0	1297 / 1500	/ 1500	1500

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	288/298	271 / 288	272 / 288	/ 288	288
	単位あたりコスト		17.9	15.9	14.8		
	地域住民利用人数	人	/	18725 / 20000	10877 / 20000	/ 20000	20000
	単位あたりコスト			0.2	0.4		

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域住民の生涯学習の拠点として公民館組織は必要不可欠である。 市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。老朽化による施設修繕費も年々増加している中、受益者負担として、施設使用料（減免）の見直しについて検討していく必要もあるが、地域住民の学び・集い・結ぶという地域公民館の設置目的から、充分な議論が必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 新型コロナウイルス感染予防のため施設休止及び利用制限したことにより館の利用は減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	生涯学習の拠点として公民館組織は維持しつつ、地域福祉、住民自治、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「コミュニティセンター」とすべく、施設の長寿命化改修と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行い改編する計画である。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	令和4年度は長寿命化の大規模改修工事を円滑に進める。そのため、事務所は移転し、出来る範囲の生涯学習講座を行う。 工事完了後には、地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 講座内容についても充実を図る。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	川口地域公民館一般管理事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館						所属長	浅田 久子				
会計情報	事業コード	630102	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	236	頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）												
R3現在の状況	☑ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	川口地域公民館の適正な管理運営により、快適・安全な施設利用を提供する。地域住民の交流を促進し、そして生涯学習活動の場として、多くの住民に利用される。			
対象者	川口地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	アムスセキュリティサービス株式会社 ほか			
事業概要（箇条書き）	・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕 ・災害時においては広域避難所として使用。			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	報酬、職員手当等	950	臨時職員報酬、期末手当
	需用費	1,747	光熱水費、消耗品、施設修繕費（エアーコンチラー1号機ファンモーター修繕他）など
	役務費	164	共済保険、通信運搬費（電話代） 手数料（ピアノ調律手数料）
	委託料	544	機械警備、定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など
	使用料及び賃借料	172	印刷賃貸借料、テレビ受信料など

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,352	3,453	3,816	6,338
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	3,352	3,453	3,816	6,338
予算財源内訳	① 一般財源	3,273	3,358	3,706	6,228
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	79	95	110	110
決算情報	① 流充用額	639	200	0	0
	② 配当予算	3,991	3,653	0	0
	③ 執行額	3,991	3,577	0	0
	④ 執行率	100.0%	97.9%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.06 / 1.05	0.03 / 0.75	0.03 / 0.75	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	3,105	2,115	2,115	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		7,097	5,692	2,115	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	川口地域公民館使用料	種類	教育使用料	実績金額	99	決算付属資料	12	頁

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公民館利用人数	人	6394 /6,300	4496 / 6400	3372 / 6400	/ 6400	6400
	公民館利用件数	件	/	531 / 0	227 / 600	/ 600	600

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	289/298	270 / 287	272 / 280	/ 280	280
	単位あたりコスト		12.7	14.8	13.2		
	地域住民利用者数	人	/	3254 / 5000	3033 / 5000	/ 5000	5000
	単位あたりコスト			1.2	1.2		

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域住民の生涯学習の拠点として公民館組織は必要不可欠である。 市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。老朽化による施設修繕費も年々増加している中、受益者負担として、施設使用料（減免）の見直しについて検討していく必要もあるが、地域住民の学び・集い・結ぶという地域公民館の設置目的から、充分な議論が必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 令和元年度より地域包括支援センターに実習室を提供したこと、また新型コロナウイルス感染予防のため施設休止及び利用制限したことにより館の利用は減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	現在も地域包括支援センターが館内に設置され、連携した講座等も行っているが、生涯学習の拠点として公民館組織は維持しつつ、地域福祉、住民自治、地域経済発展に寄与するより多目的な機能を有した「コミュニティセンター」とすべく、施設の長寿命化改修と合わせ、関係課及び地域住民と協議を行い改編する計画である。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館し、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図る。 講座内容についても充実を図る。令和6年度の大規模改修に向けて、内容等地元協議を進める。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）

福知山市 令和３年度事務事業評価シート

（単位：千円）

Ⅰ 事業属性

事業名	中央公民館一般管理事業												
事業担当	所属	60040000 教育委員会　中央公民館						所属長	浅田　久子				
会計情報	事業コード	630101	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	236	頁
施策体系	施策コード	020103	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	社会教育法　福知山市立公民館条例　福知山市立公民館条例施行規則												
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　）												
R3現在の状況	☑ 継続中　☐ 廃止/休止　☐ 他事業へ統合　☐ 他事業を統合												
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的（あるべき姿）	市民・住民が、中央公民館を快適に利用できるよう、すみやかな利用受付を行い、また生涯学習情報を提供することにより、多くの住民の学習活動を推進していく。			
対象者	中央及び地域公民館等利用可能対象者	対象者数	76,584	単位あたりコスト　0.1
実施方法	☑ 直接実施　☐ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）			
委託先・実施主体等				
事業概要（箇条書き）	・中央公民館の利用予約の受付、使用許可、使用料の徴収等 ・各種講座・教室等を案内する生涯学習情報誌を作成し、市内全世帯に配布することにより、市民の自主的な学びを推進する。 ・事業成果等は「公民館活動のまとめ」として作成し、社会教育関係者に配布し今後の事業推進の参考とする。			

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績（R2）	主な業務内容
	報酬	2,675	公民館運営審議会委員報酬、臨時職員報酬
	職員手当等	172	臨時職員期末手当
	需用費	342	各種消耗品等
	役務費	197	通信運搬費（郵送料、Wi-Fi・電話通信料など）
	使用料及び賃借料	66	コピー機使用料

Ⅲ 予算執行状況

区分		R1（評価前年度）	R2（評価年度）	R3（本年度）	R4（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,760	5,001	4,791	5,065
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,760	5,001	4,791	5,065
予算財源内訳	① 一般財源	1,217	1,274	1,150	1,610
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	3,543	3,727	3,641	3,455
決算情報	① 流充用額	△ 1,216	△ 53	0	0
	② 配当予算	3,544	4,948	0	0
	③ 執行額	3,544	3,452	0	0
	④ 執行率	100.0%	69.8%		
人概工算	① 従事職員数（正職員／嘱託職員）	0.20 / 0.30	0.08 / 0.30	0.08 / 0.30	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,350	1,390	1,390	0
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,894	4,842	1,390	0

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	自動販売機設置貸付収入	財産貸付収入	1,532	36	
	中央公民館使用料・電柱等設置占用料他	教育使用料	1,304	12	
	雑入（自動販売機等電気代他）	雑入	47	46	

Ⅳ 業績指標

成果実績（アウトカム）実績／目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公民館利用人数	人	41,317/43,000	43056 / 43000	19485 / 44000	/ 44000	44000
	利用件数	件	2,519 /2,300	2493 / 2300	1212 / 2500	/ 2500	2500

活動実績（アウトプット）実績／計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	359/359	343 / 360	325 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		11.0	10.3	10.6		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

Ⅴ　一次評価（事業担当所属内による自己評価）

項　　目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	住民の生涯学習の拠点、また地域公民館を取りまとめる機能として中央公民館は必要不可欠な組織である。 生涯学習活動に適した多様な部屋を利用して、公民館活動の充実が図られているが、施設としては市民交流プラザと中央公民館を統括して管理することを検討する。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	施設の維持管理及び運営については、効率性を重視し事業運営を行っている。光熱水費等もかさむことから、、受益者負担として、施設使用料（減免）の見直しについて検討していく必要もあるが、地域住民の学び・集い・結ぶという公民館の設置目的から、充分な議論が必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	生涯学習活動やサークル活動など、駅前のランドマークであり住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、今後も多くの利用が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化や地域での人と人との絆が薄れていく現代社会状況の中で、生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、中央公民館が快適安全で利便性の高い公共施設として、利用数は増加傾向であったが、新型コロナウイルスの関係で施設休止、利用制限等を余儀なくされた。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域公民館未設置の南陵中学校区の公民館として、また、各地域公民館を統括する主管公民館であることから、今後も、公民館に多くの住民が集い、学び、人と人との絆を結ぶきっかけづくりとなる生涯学習情報誌の作成や、市立公民館全体の情報発信を行なう。		

Ⅵ　二次評価（事業所属外による他部署評価）

事後評価コメント	

Ⅶ　評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	☑ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	市民・住民が、中央公民館を快適に利用できるよう、すみやかな利用受付を行い、また生涯学習情報を提供することにより、多くの住民の学習活動を推進していく。 より適切な運営を行うため、臨時職員の勤務日数について、16日から21日の勤務に変更する。

Ⅷ　予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持　☐ 廃止/休止　☑ 予算拡充　☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合　（統合事業名：　ー　）　☐ 他事業へ統合　（統合先事業名：　ー　）